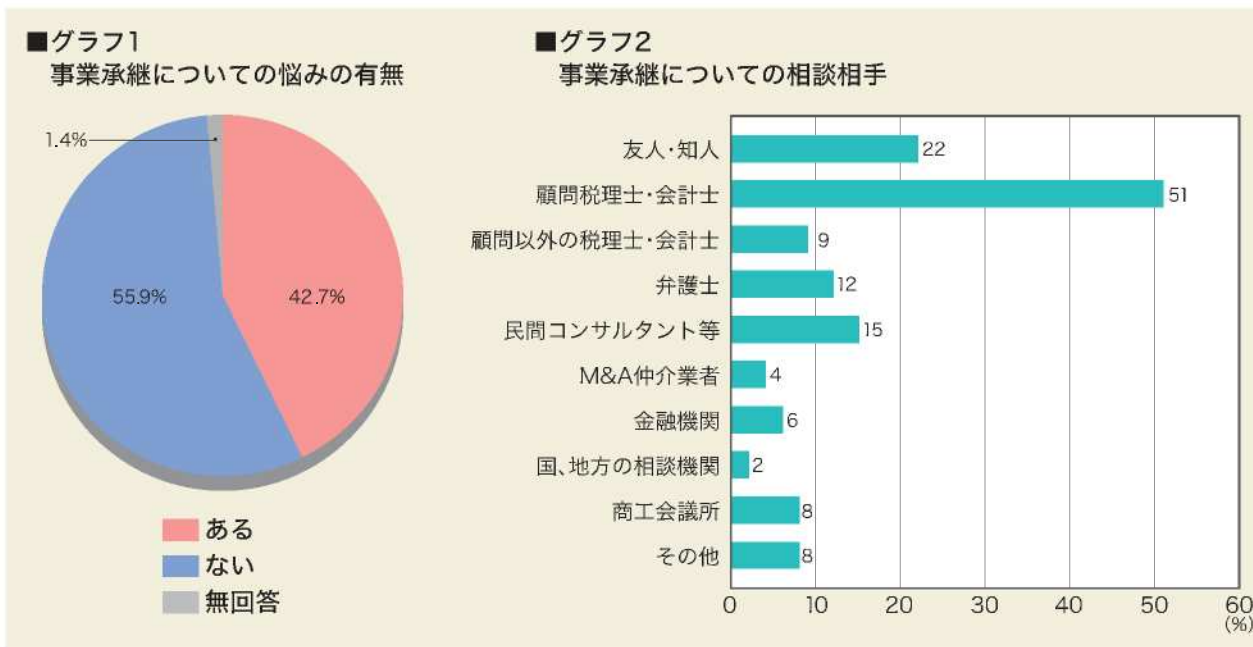


「事業承継で悩んでいる」 年齢層のピークは50代

NUMBER



今回は、東京商工会議所荒川支部が実施した「荒川区内事業承継問題アンケート調査」の結果の一部を紹介します。

東京都内で下町の面影が色濃い荒川区は、数多くの中小・零細企業があります。同アンケートは1,563事業所に配布し、そのうち211件から回答をいただきました。

まず、事業承継の悩みが「ある」と答えた事業所は42.7%（グラフ1）。半数以下ですが、事業承継未経験企業（創業者）の比率が35.5%という点を考えると、決して低い数字ではありません。

そして、事業承継の悩みが「ある」と答えた事業所を、経営者の年齢層で見ると、最も多いのは50代の53.7%。次いで60代、70代（各42.5%）となっています。

また、事業承継の相談を誰にしているかというアンケート（グラフ2）では「顧問税理士・会計士」が最も多く、「友人・知人」、「中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士、行政書士、その他民間コンサルタント等」という順番でした。毎月顔を合わせている顧問税理士に悩みを相談している傾向が読み取れました。